

全日本プロレス チャリティー茅ヶ崎大会

All Japan Pro-wrestling
charity match
in Chigasaki!!



すわまちおこし 第一弾

2013.4.6 茅ヶ崎市総合体育館



全日本プロレスチャリティー茅ヶ崎大会によせて

茅ヶ崎市長 服部 信明

桜咲く春の季節、茅ヶ崎市総合体育館におきまして、全日本プロレスチャリティー茅ヶ崎大会が盛大に開催されますことをお慶び申し上げます。

本大会が開催されますことは、プロレスファンのみならず、茅ヶ崎市民にとりましても大きな喜びです。

本大会は、「すわ“まち”おこし」と題し、プロレスを通じたまちおこしとして開催されると伺っております。チャリティー大会として、茅ヶ崎市や茅ヶ崎市社会福祉協議会にご寄付をいただくほか、市内の障害者団体を無料でご招待いただき、さらには、「茅ヶ崎スペシャルシート」用のお土産の製作を障害者団体に発注していただきました。また、全国初の試みとして、地元の商店街と共同で「茅ヶ崎元町コン」を企画されるなど、斬新かつ心躍るアイデアに大いに感服いたします。新たな取り組みである「すわ“まち”おこし」が、スポーツ振興のみならず、商業の振興やまちの活性化に大きな相乗効果をもたらすことに期待いたしますとともに、地域へのご貢献に対し、茅ヶ崎市

民を代表いたしまして厚く御礼申し上げます。

さて、スポーツの楽しみは、自らがスポーツを行うことだけに限りません。自分では取り組むことができない競技を観戦することもスポーツの楽しみ方の一つです。本大会の開催により、多くの市民の皆様が、日頃鍛え上げられた肉体が本気でぶつかり合う戦いを観戦できることに大きな意義を感じます。

諏訪魔選手におかれましては、全日本プロレスにおいて、輝かしい成績を残し、人気プロレスラーとしてご活躍されていることを、同じ湘南地域に住む者として誇りに思います。今後ともますますご活躍いただくとともに、地域の活性化にご尽力いただければ幸いです。

最後になりましたが、本大会を支えていただきました全日本プロレスチャリティー茅ヶ崎大会実行委員会の皆様をはじめ、関係者の皆様方に対しまして、心より感謝と御礼を申し上げご挨拶とさせていただきます。



全日本プロレス チャリティー茅ヶ崎大会を迎えて

社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉協議会
会長 熊澤 克躬

「全日本プロレス チャリティー茅ヶ崎大会」が平成25年4月6日(土)に初めて茅ヶ崎市総合体育館にて多数の御来場のもと、盛大に開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

全日本レスリング選抜選手権や国体にて優勝、さらには世界選手権代表を経験された、現在全日本プロレス選手会長である諏訪魔選手は、豪快な投げ技等で大活躍されています。そのリングネームと悪役からイメージされた強面とは裏腹に、ちびっ子レスリング教室にて未来を担う子供たちにレスリングを教えるなど、青少年育成事業や地域貢献活動にも尽力されています。

チャリティー大会当日は、諏訪魔選手ほかの全日本プロレス所属選手の方々のパワフルな試合を観戦できる

一方、諏訪魔選手個人の「甘い物好きでお化け屋敷が嫌い」という人間味のあるお人柄も拝見できることと期待しております。

今回はチャリティー大会として収益の一部を社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉協議会へご寄附いただけるとのことで、当市社協では諏訪魔選手を始め皆様の温かいお気持ちを茅ヶ崎市と“タッグ”を組んで行う地域福祉の推進のため、有効に活用させていただきます。主催者及び関係者の方々に心より感謝申し上げます。

最後になりますが、諏訪魔選手の益々のご活躍と「全日本プロレス」の益々のご発展を祈念し、さらには初のチャリティー大会の開催にご尽力いただきました実行委員会及び関係者の皆様に深く感謝申し上げます。



諏訪魔スペシャルインタビュー SUWAMA SPECIAL INTERVIEW

昨年は出身地である藤沢市で、初の凱旋試合である『全日本プロレスチャリティー藤沢大会』を、続いて『藤沢市民まつり』では歴史ある遊行寺でのプロレス試合を成功させ、プロレスによる町おこしを次々に実現してきた諏訪魔選手。その熱い想いをインタビューした。

——昨年の地元藤沢大会に引き続き、今回はお隣の茅ヶ崎でプロモートと言う事ですが、茅ヶ崎という場所に對してはどのような印象や想いがありますか？

諏訪魔 やはりサザンビーチやえぼし岩など『湘南の海』『オシャレな街』と言うイメージがまっ先に出て来ます。自分も元々そういうイメージが強かったのですが、しかし、今回茅ヶ崎大会のPR活動をしていくうちに「それだけじゃないんだな」という印象を受けました。茅ヶ崎の南口や北口の商店街には小売店や飲食店が多いんですが、そういうお店のつながりと言うか、人ととのつながり、地域力がすごいんです。それは今回、本当に強く感じて驚きました。

——今回、タイトルが『すわ“まち”おこしvol1』と言う『諏訪魔』+『まちおこし』と言う秀逸タイトルですが(笑)、この度『まちおこし』としてプロレス興行の他にどのような事を企画されたのですか？

諏訪魔 今回『まちおこし』と言うテーマを掲げてから「何が出来るかな?」と思っていた時に、茅ヶ崎元町商店街の知り合いと雑談をしている中で、今『街コン』というものがすごいブームになっていると聞きました。自分はよく知らなくて「街コンって何?」と聞き返したんですが、「男女が地元の商店街のお店を何軒か回って楽しく飲みながら交流を持てる」という企画だと知って「それはまちおこしにもなるし、ぜひプロレスとからめて茅ヶ崎で開催してみよう!」ということになりました。まちおこしにもなって、プロレスも楽しんでもらって、おまけにカップルも誕生したら、こんなに素晴らしい事はないなと思います。今日は『茅ヶ崎元町コン』に参加しているみなさんに大いに楽しんでいってもらいたいと思います。

——ちなみに『すわ“まち”おこしvol1』の『vol1』と言うの

が非常に気になるのですが、今後地元での興行がまだ企画されていると言うことですか？

諏訪魔 昨年、藤沢で凱旋試合やお寺での市民まつり興行をやって、「プロレスというものが地域を盛り上げてくれるんだ」という手ごたえを感じました。なので今回は『まちおこし』と言うタイトルを明確に掲げ、あえて『vol1』としました。この茅ヶ崎大会が成功したら、『vol2』、『vol3』、と銘打って『すわ“まち”おこし』を色々な場所で実現していくたいと思っています。場所はまだ言えませんが、藤沢、茅ヶ崎だけでなく、他の場所での企画も考えています。そうやって『まちおこし』が色々な地域に飛び火して広がっていってくれれば嬉しいです。

——最後に一言よろしくお願い致します。

諏訪魔 今日初めてプロレスを観にこられた方もたくさんいらっしゃるかと思いますが、とにかくプロレスと言うもののパワーを感じて感動してもらえたなら嬉しいです。そのために自分たちも全力を尽くして試合をしますので、みなさんもぜひ大声を張り上げて今日の試合を楽しんでください。



えぼし岩を指差す諏訪魔選手
(左)茅ヶ崎サザンビーチのモニュメント前で(下)

